



シリーズ

武雄の治水

vol.27

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

激特事業の進捗

令和元年の豪雨被害を受け、六角川水系では河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）が採択され、河道掘削や遊水地整備、排水ポンプ増強等の治水対策が進められてきました。今年、激特事業の最終年度となっており、様々な事業が完了し、継続中の事業も完成が近付いています。武雄市で実施されている事業の進捗状況をお伝えします。

六角川の河道掘削 完了 国

激特事業が採択された後に、追加対策としてヨシの繁茂抑制対策も実施されました。

河川対策は着々と進んでおり、令和3年8月と同規模の雨が降っても排水ポンプは停止しない見込みです。



高橋排水機場の増強 完了 国

九州最大の排水機場となりました。

約 50 m³/秒から約 61 m³/秒へ！



広田川排水機場の新設 工事中 県

北方町の広田川において、排水機場の新設工事が行われています。排水能力は5 m³/秒で、完成後は広田川周辺の浸水被害の軽減が見込まれます。



武雄川の 工事中 県 拡幅工事

武雄町上西山地区において、事業区間約 1,000m に及ぶ河川改良工事が進められており、これまでに固定堰の撤去や川幅を広げる工事が行われています。完成すると大雨でも河川から水が溢れにくくなり、周辺の浸水被害軽減が見込まれます。

NEWS

嘉瀬川・六角川・松浦川総合水防演習 (5/19 (日) 佐賀市嘉瀬川河川敷)

九州地方整備局や佐賀県、流域の市町の防災関係団体など約 600 名が参加しました。多くの観客が見守る中、市からは、消防団が積み土のう工法やシート張り工法を実演しました。また、武雄市建設業協会と連携して、排水ポンプ車による排水訓練の実演も行われました。出水時に機動的な活動を行うため、実践を通して各機関の連携を確認することができました。



早めの避難を！

土砂災害警戒情報の基準が見直されました

令和6年5月23日から、佐賀県の土砂災害警戒情報の発表基準が見直されました。危険度の判定精度があがったため、これまでよりも発表の頻度は少なくなる見込みです。土砂災害警戒情報は、市が避難指示を出す目安となっています。避難指示が出た場合は、これまでよりも危険度が高くなったことを意識し、より安全な場所への早めの避難をお願いします。

線状降水帯による大雨の予測が府県単位に

令和6年5月27日から、線状降水帯予測情報の「府県単位」での発表がスタートしました。これまで「九州北部地方」など全国11地方単位で半日程度前から情報提供されていましたが、予測精度の向上に伴い、きめ細かな情報提供が可能となりました。

詳しくは まちづくり部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

